

## 前月より持ち直しの兆しあるもマイナス基調続く

業種によってはコロナ禍の影響の長期化を懸念

～景況DI値は、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス60.6～

\*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

### 1. 2月鳥取県内の中小企業景況

**売上（受注）高** 製造業では、DI値前月比52.5ポイント上昇のプラス5.2、前年同月比21.1ポイント上昇のマイナス52.6。非製造業では、前月比73.7ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス57.9。

**販売（受注）価格** 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のプラス10.5、前年同月比同水準のマイナス15.8。非製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のマイナス21.0、前年同月比5.2ポイント低下ののマイナス10.5。

**収益状況** 製造業では、DI値前月比31.5ポイント上昇のマイナス10.6、前年同月比10.5ポイント上昇のマイナス52.6。非製造業では、前月比57.9ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス73.7。

**資金繰り** 製造業では、DI値前月比15.8ポイント上昇のマイナス5.3、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のマイナス31.5、前年同月比同水準のマイナス57.9。

**雇用人員** 製造業では、DI値前月比10.6ポイント上昇のプラス5.3、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。非製造業では、前月比同水準のマイナス15.8、前年同月比同水準のマイナス31.6。

**景況** 製造業では、DI値前月比10.5ポイント上昇のマイナス31.6、前年同月比21.1ポイント上昇のマイナス52.6。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のマイナス31.6、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス68.4。

**県内中小企業の景況は**、全業種景況DI値は、前月比18.5ポイント上昇のマイナス31.5、前年同月比2.6ポイント上昇のマイナス60.6となった。製造業では、一般食料品、繊維工業、印刷業などでコロナ禍の影響による売上高等減少が続いている。金属製品では、一部自動車関連で持ち直しの動きがあるものの回復には至っていない。非製造業では、首都圏等への緊急事態宣言、GoTo トラベル一時停止の影響により、旅館・観光関連、商店街などで引き続き厳しい状況が続いている。県内景況は、前月調査に比べ若干持ち直しの兆しが見られるものの、依然としてマイナス基調にあり、業種によってはコロナ禍の影響の長期化が懸念される。

## 2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

2月の全国倒産は、件数442件で、2000年以降3番目の低水準となった。負債総額は777億4,500万円(負債総額1,000万円以上)で、7カ月ぶりの前年同月比増加となった。不況型倒産の合計は325件、構成比は73.5%、負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は275件、構成比は62.2%を占めた。

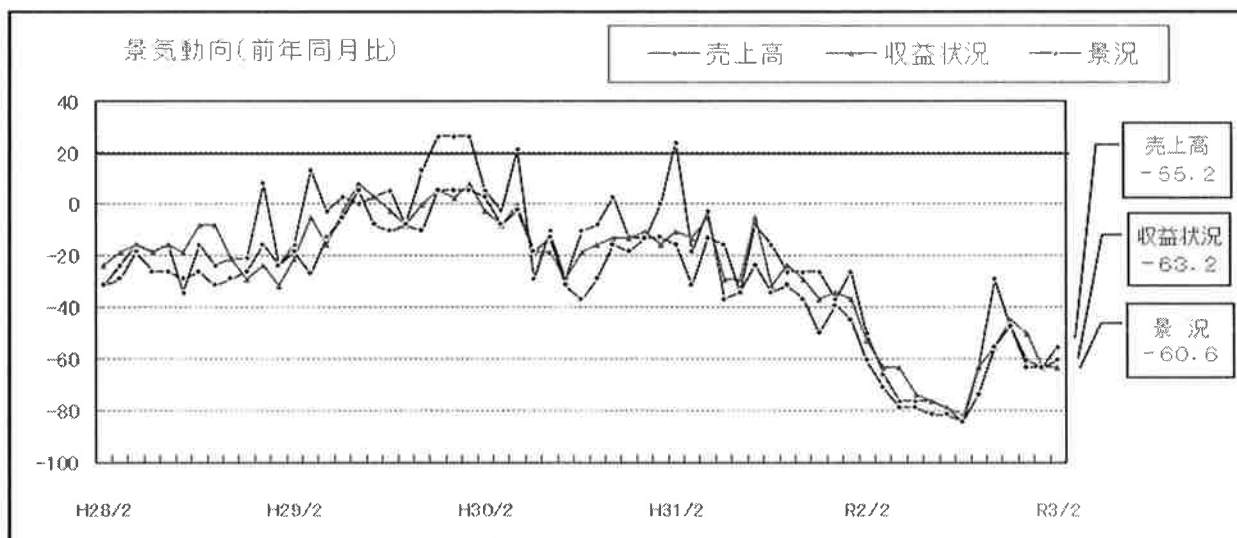
一方、2月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数0件(前月3件)、負債総額は0円(前月1億9,900万円)で、負債総額1,000万円以上の法的手続きによる倒産が発生しなかったのは2020年9月以来5カ月ぶりとなった。

## 3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報1月分」)

鳥取県の1月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.22倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.10倍)で、前月より0.01ポイント上昇した。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.20倍、米子所1.41倍、倉吉所1.49倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.31倍(季節調整値)で、前月より0.19ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比7.9%減少し、有効求人数は17.7%の減少となった。産業別に前年同月で比較すると、サービス業(14.7%)、運輸業・郵便業(12.5%)、宿泊業・飲食サービス業(10.7%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比13.1%減少し、有効求職者数は4.8%増加した。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.41倍で、前年同月を0.49ポイント下回った。新規求人数は前年同月を1.4%下回った。



## 2月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	26.3%	21.1%	5.2 52.5	42.1%	36.8%	5.3 73.7	34.2%	28.9%	5.3 63.2
(2)在庫数量	5.3%	5.3%	0.0 -5.2	25.0%	16.7%	8.3 24.9	12.9%	9.7%	3.2 6.4
(3)販売価格	10.5%	0.0%	10.5 -10.5	0.0%	21.1%	-21.0 5.2	5.3%	10.5%	-5.2 -2.6
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 -10.6	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	0.0%	7.9%	-7.9 -2.6
(5)収益状況	10.5%	21.1%	-10.6 31.5	26.3%	36.8%	-10.5 57.9	18.4%	28.9%	-10.5 44.8
(6)資金繰り	0.0%	5.3%	-5.3 15.8	5.3%	36.8%	-31.5 5.3	2.6%	21.1%	-18.5 10.4
(7)設備操業度	5.3%	15.8%	-10.5 0.0						
(8)雇用人員	5.3%	0.0%	5.3 10.6	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	2.6%	7.9%	-5.3 5.2
(9)景況	0.0%	31.6%	-31.6 10.5	10.5%	42.1%	-31.6 26.3	5.3%	36.8%	-31.5 18.5

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	15.8%	68.4%	-52.6 21.1	10.5%	68.4%	-57.9 -5.3	13.2%	68.4%	-55.2 8.0
(2)在庫数量	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	8.3%	41.7%	-33.4 0.0	3.2%	29.0%	-25.8 -3.3
(3)販売価格	5.3%	21.1%	-15.8 0.0	15.8%	26.3%	-10.5 -5.2	10.5%	23.7%	-13.2 -2.6
(4)取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	21.1%	-21.1 -10.6	0.0%	13.2%	-13.2 -7.9
(5)収益状況	15.8%	68.4%	-52.6 10.5	0.0%	73.7%	-73.7 -10.6	7.9%	71.1%	-63.2 -0.1
(6)資金繰り	0.0%	36.8%	-36.8 -5.2	0.0%	57.9%	-57.9 0.0	0.0%	47.4%	-47.4 -2.7
(7)設備操業度	0.0%	52.6%	-52.6 0.0						
(8)雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 5.3	0.0%	31.6%	-31.6 0.0	0.0%	21.1%	-21.1 2.6
(9)景況	5.3%	57.9%	-52.6 21.1	0.0%	68.4%	-68.4 -15.8	2.6%	63.2%	-60.6 2.6

\*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

\*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

#### 4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

### 製造業

#### 【食料品】

一般食料品⇒ 首都圏等の緊急事態宣言継続により、ホテル・旅館及び飲食店向けは、引き続き厳しい状況。一部事業所では一時帰休も続いている。

醬油⇒ 売上高は、前月比で不変、前年同月比で減少。業務用関連の事業所については、コロナ対策補助金等の効果が出ていない。

#### 【繊維工業】

繊維製品⇒ 婦人服では、少し回復しつつあるが、製造現場に反映されるのはまだ先となりそう。座席シート縫製では、自動車座席シートの受注内示数は、年明けから増えていく傾向に見受けられたが、車種によるバラツキがあり短期間での受注数量増減に生産の対応が難しい。

ニット製品⇒ 消費者の衣料品購買意欲は、外出機会の制限により長期間に渡って低迷しており、インターネット等での室内衣料品購入が定着している。国内縫製メーカーは、資材（自動車）関連を除き、メディカル分野での仕事を頼りに低操業度で仕事を繋いでおり先行き不透明。

#### 【家具装備品】

⇒ 売上高は、前月比、前年同月比ともに不変。リビング関連の高級品も一服感が見られる。

#### 【木材・木製品】

製材品⇒ 製材用素材の入荷量は前月比で不変、製材品の生産量はやや減少。合板の生産量も前月比で減少。リフォーム関連の動きは活発だが住宅着工の動きは弱く、製材品の動きに活発さはみられない。春先の需要期に向けての在庫準備を進めている。プレカット加工の稼働率は、前月比10%増加、前年同月比では40%減少。

#### 【紙・加工品】

和紙⇒ 年度末が迫ってきているなか、去年は相次いで中止となっていた商品展示会も少しずつ開催される予定。3月、4月は需要期に入るので、売上回復に期待している。

#### 【印刷】

⇒ 年度末に向けてやや忙しさはあるものの、DM（ダイレクトメール）などの販促物のページ数、部数が縮小気味。会報、機関紙、報告書などの印刷物は例年通り変更なく進行しているが、新年度に向けての動きは不透明。

#### 【窯業・土石製品】

生コン⇒ 2月の生コン出荷量は、前月比37%増加、前年同月比29%減少。1月は年始の休暇や積雪により出荷が大幅に減少したため、2月は前月より伸びた。前年同月比では、大型物件がなく、東部・中部では受注残

が少ない。先行きも大変厳しい。県内では、需要の大幅な減少により、生産設備の集約化を進めており、東部地区で初めて、製造委託工場を3月1日開始した。

#### 【金属製品】

**金属加工**⇒ 建築関係は、西部地区の物件が多く仕事量も多いが、東部・中部地区は地元物件が少なく受注競争が厳しい。高炉メーカーは、鉄鉱石や原料炭の価格上昇、電炉メーカーはスクラップ価格上昇と、強気で値上げを進めており、型鋼の価格上昇と元請けの受注競争により、収益面での影響が出ている。機械加工は、県東部の得意先でも、工作機械関連の得意先の休業（雇用調整助成金申請）は続いているが、自動車、家電、半導体関連の得意先は多忙となっている。

**鉄骨加工**⇒ 鋼材の値上げにより工事契約が非常に難しい局面となっている。4月以降の物件交渉が多くなっているが、鋼材商社も単価の入れどころが難しく回答が出ない状況。電炉メーカーの値上げの影響を受け、高炉メーカーも次々と値上げ発表をしており、鋼板、軽量形鋼など値上げが進むなか、現在受注済みの案件、今後の見積案件に大きな影響が出る。

**金属熱処理**⇒ 2月の受注状況は前月比で増加しているが、顧客全体の受注量が回復した訳ではない。特定の顧客の受注金額に伴う増加が大きく、その他の顧客における景気状況は低迷したまま。前年同月比でも増加したが、同様に顧客の占有率には大きな変化が起こっている。また、一部の顧客には受注があっても従業員の採用に苦慮しているため、設備稼働率が上がらない事例も散見されている。業界の状況は、引き続き中京地区のみが自動車産業を中心にして好景気の状態であるが、関東、関西、中国及び九州の各地区においては何れも景気回復には至っていない。

#### 【電気機械器具】

⇒ 年度末に向けて生産は徐々に回復してきているが、部材調達の問題は残っている。来年度の計画もまだ通常とは程遠い状況。

## 非製造業

#### 【卸売業】

**東部地区**⇒ 良い業種と悪い業種が明確に分かれている。青果関係では、売上高は前月比、前年同月比とも増加。コロナ禍の影響は少なく増加傾向。鮮魚関係でも、売上高は前月比、前年同月比ともに増加したが、コロナ禍におけるホテル、旅館等の低迷が懸念される。

**中部地区**⇒ 売上高は前月比で減少、前年同月比で増加。官公庁関連で多忙となっているが忙しさを分散してほしい。民間需要は厳しいが首都圏等の緊急事態宣言解除に期待している。

**西部地区**⇒ 一部で新型コロナ感染防止対策等から売上の回復は鈍い。デパートや飲食店を取引先とする一部事業所も同様な状況。

水産物⇒ 巻網漁は時化が多く操業日数は限られたが、マサバの豊漁があり前年を上回る水揚量となった。太平洋側も同種の水揚げがあり鮮魚としての市況は低迷し、多くは輸出、缶詰原料として凍結された。松葉ガニ漁も時化のため不安定な水揚げとなり大きな価格向上に結び付いていない。紅ズワイガニは昨年を上回る水揚げ量ではあったが、先月と同様に消費動向の先行き不安から大きな動きはなく例年の浜値となった。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、月後半の市中スクラップ発生は薄く品不足感が解消されない状況が続いたため、値上げ改定が広がった。古紙市況は安値安定のまま。非鉄金属は、銅とステンが値上がりし、アルミは弱含みの状態。

### 【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、コロナ禍の影響で小売店、飲食店ともに厳しい状況。旅行客もなく、地元客も自粛ムードで閑散とした日が多い。飲食店は相変わらず首都圏等の緊急事態宣言を受けて、自粛ムードが続いている。小売店も、人出が戻っていない状況を反映し厳しい状況。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、首都圏等の緊急事態宣言が解除されない状況下、人の動きは戻ってない。経済活動は低調で、商店街でも春の商戦を上向きに持っていくようなイベントを打つことも出来ない。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、コロナ禍の影響が時間の経過とともに地域経済にダメージを与えており、依然として客足が遠のいている。アフターコロナの経済の立て直しにも不安を感じる。

境港市の水産物小売は、厳しい状況が続いているが2月下旬に関西地域の緊急事態宣言が解除されたことにより、若干客足は戻りつつある。週末は関西地区や山陽側の車体ナンバーの車が見られるようになってきたが、これまでのマイナス分を取り戻せない状況。

### 【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、首都圏等の緊急事態宣言の影響で観光客は激減していたが、全国的に感染者が減少したことや気温が高かったこともあり、徐々に入込数が増加した。

米子市のホテル・旅館では、GoTo トラベル一時停止と、2月は閑散期であることから、稼働日数は25%ほどで、ほとんど休館状態となっている。休業期間中は、平常出来ない修繕等を集中的に行っている。売上高も前月比、前年同月比ともに大幅減少し収益状況は悪化している。

三朝温泉では、首都圏等の緊急事態宣言により落ち込んだが、三朝温泉連泊プラン（2泊目無料）や#WeLove 山陰キャンペーンにより予約状況は持ち直してきている。

大山では、売上高は、前月比で増加、前年同月比で減少した。

### 【自動車整備業】

⇒ 新車販売実績の前年同月比は、普通乗用車は約5%減少、軽乗用車は約9%増加、普通貨物車は約6%減少、軽貨物車は約9%減少となっ

た。継続検査を含む中古車の前年同月比の実績は、普通車が約9%、軽自動車は約5%増加。新車、継続、中古車ともに前月比は2.2%増加となり、前年の実績に近づいており、新型コロナウイルスの影響が薄れてきた感がある。

### 【建設業】

⇒ 1月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額33億円(前年同月比36%減)、件数67件(同23%減)でいずれも大幅に減少し、年度累計(令和2年4月～令和3年1月)でも、請負金額867億円(前年同月比10%減)、件数1,589件(同14%減)となり、4カ月連続で金額、件数ともに1割以上減少した。設備投資も単月で大幅減となり、マイナス基調は継続。住宅建設でも、貸家系が上振れる一方、全体の基調としては弱めの動きが続いている。公共投資も4カ月連続で大幅な前年比マイナスとなり足元で減速感が見られ、全体の基調としては弱めの動きが続いている。

1月の鳥取県新設住宅着工戸数は140戸(持家111戸、貸家29戸)で、前月比18%減少、前年同月比16%増加となった。

### 【運輸業】

**東部地区**⇒ 製造業等の出荷量は概ね横ばいで、生産調整もあり荷動きは低調な状況が続いている。復路荷物の荷動きも低調に推移しており、空車で帰る車両もみられ非効率な運行が続いている。売上高は、前月比で微増、前年同月比で減少。燃料価格は大幅に値上がりし収益状況は厳しい。

**西部地区**⇒ 週末の県外からの往路荷物が相変わらず低調ということを除けば、ほぼ前年並みの物量となった。燃料価格は2月に入っても上がり続けている。価格上昇の原因としては石油輸出国機構(OPEC)の減産実施、サウジアラビアの独自減産、抗コロナウイルスワクチン接種の実施、米国の200兆円もの経済対策、日銀のETF実施などによる株価の高騰、米国の原油、オクラホマ州クッシング地区の在庫量が減少しており米国経済の需要の順調さなどであるとみられる。

## 5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・コロナ禍の影響は間接的に民間大型工事の延期等が見受けられ、国の予算も大型災害復旧に優先的に予算が配分されており、当県の国土強靱化推進のため、国県の予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・緊急事態宣言のエリアのみ支援金が出ているが、地方も緊急事態宣言下でエリア外とはいえ、同等の影響を受けている。【商店街】
- ・「GoTo 商店街」のプロジェクトを早く動かしたい。「繁盛店づくり」のプロジェクト粛々と進行させたい。【商店街】
- ・GoTo トラベル等、国の施策の継続を要望。【旅館業】

## 最近の指標の前月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	製造業	-15.8	-63.1	-78.9	-78.9	-21.1	-26.3	-47.4	5.3	47.4	0.0	-10.5	-47.3	5.2	21.0
	非製造業	-21.0	-36.9	-68.4	-52.6	10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-10.5	-68.4	5.3	26.3
	全業種	-18.5	-50.0	-73.7	-65.8	-5.2	-13.2	-26.3	5.3	23.7	0.0	-10.5	-57.9	5.3	23.8
在庫数量	製造業	-21.0	0.0	0.0	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	-10.5	5.2	0.0	21.0
	非製造業	-8.3	-8.3	-16.7	-8.3	0.0	-33.4	-41.7	0.0	0.0	16.6	0.0	-16.6	8.3	16.6
	全業種	-10.1	-3.2	-22.6	-12.9	-3.3	-16.1	-22.6	-6.5	-3.2	-9.7	-6.4	-3.2	3.2	19.3
販売価格	製造業	0.0	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-5.2	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0
	非製造業	-15.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-21.0	5.3	-26.3	0.0	0.0	10.6	-21.0	-15.8	0.0
	全業種	-7.9	-21.0	-18.4	-18.4	-15.8	-13.1	2.6	-15.8	-2.6	0.0	5.3	-5.3	-7.9	0.0
取引条件	製造業	0.0	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.6	-10.6
	非製造業	-15.8	-21.1	-26.3	-21.1	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-15.8	-10.5	5.3
	全業種	-7.9	-18.4	-21.1	-13.2	-13.2	-15.8	-2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-2.6
収益状況	製造業	-21.0	-52.6	-47.3	-57.9	-31.6	-21.1	-31.6	-10.5	-15.8	-10.5	-5.2	-42.1	-10.6	10.4
	非製造業	-26.3	-52.7	-73.7	-57.9	-15.7	-5.3	-21.0	-21.0	0.0	0.0	-5.3	-68.4	-10.5	15.8
	全業種	-23.6	-52.6	-60.6	-57.9	-23.7	-13.2	-26.3	-15.8	-7.9	-5.2	-5.2	-55.3	-10.5	13.1
資金繰り	製造業	-21.0	-36.8	-42.1	-26.3	-26.3	-10.5	-5.3	10.5	0.0	5.2	0.0	-21.1	-5.3	15.7
	非製造業	-42.1	-57.9	-63.2	-42.1	-42.1	-36.8	-26.3	-31.6	0.0	0.0	-15.8	-36.8	-31.5	10.6
	全業種	-31.6	-47.4	-52.7	-34.2	-34.2	-23.7	-15.8	-10.5	0.0	2.7	-7.9	-28.9	-18.5	13.1
設備操業度	製造業	-10.6	-26.3	-57.9	-42.1	-21.0	-21.0	-15.8	10.6	-5.3	0.0	0.0	-42.1	-42.1	-31.5
雇用人員	製造業	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	5.3	15.8
	非製造業	-15.8	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	0.0
	全業種	-13.2	-15.8	-21.1	-21.1	-15.8	-5.3	-5.3	-5.3	-2.7	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	7.9
景況	製造業	-47.4	-57.9	-73.7	-52.6	-57.9	-47.3	-31.6	-26.3	-10.6	-15.8	-15.8	-42.1	-31.6	15.8
	非製造業	-63.2	-57.9	-78.9	-73.6	-47.4	-31.6	-15.8	-31.5	10.5	-10.5	-15.8	-57.9	-31.6	31.6
	全業種	-55.3	-57.9	-76.3	-63.2	-52.7	-39.5	-23.6	-28.9	0.0	-13.2	-15.8	-50.0	-31.5	23.8



## 最近の指標の前年同月比D I の推移

		2020年												2021年	前年との増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
売上高	製造業	-47.4	-78.9	-78.9	-89.5	-84.2	-84.2	-89.5	-78.9	-52.4	-42.1	-73.6	-73.7	-52.6	-5.2
	非製造業	-52.6	-52.6	-73.7	-63.1	-68.4	-73.6	-78.9	-47.4	-5.3	-52.7	-47.4	-52.6	-57.9	-5.3
	全業種	-50.0	-65.8	-76.3	-76.3	-76.3	-79.0	-84.2	-63.2	-29.0	-47.4	-60.6	-63.2	-55.2	-5.2
在庫数量	製造業	-26.3	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-5.3	-10.6	-26.3	-26.3	0.0	-21.1	-15.8	-21.1	5.2
	非製造業	-33.3	-33.4	-16.7	-33.3	-33.3	-25.0	-25.0	-16.6	0.0	-16.7	-8.3	-33.4	-33.4	-0.1
	全業種	-29.0	-9.7	-16.1	-22.6	-19.4	-12.9	-16.1	-22.5	-16.1	-6.4	-16.1	-22.5	-25.8	3.2
販売価格	製造業	-5.3	-5.2	-10.5	-21.1	-31.6	-26.3	-26.3	-21.0	-21.0	-21.0	-21.0	-15.8	-15.8	-10.5
	非製造業	-21.1	-31.5	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-5.3	-5.3	-10.5	10.6
	全業種	-13.2	-18.4	-18.4	-23.6	-23.6	-26.3	-15.8	-13.2	-10.6	-15.8	-13.2	-10.6	-13.2	0.0
取引条件	製造業	5.2	-15.8	-15.8	-10.5	-26.3	-21.1	-15.8	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-10.5
	非製造業	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-31.6	-26.3	-26.3	-21.1	-5.2	-15.8	-10.5	-21.1	0.0
	全業種	-7.9	-21.1	-23.7	-23.7	-31.6	-26.3	-21.1	-13.2	-13.2	-5.3	-10.5	-5.3	-13.2	-5.3
収益状況	製造業	-57.9	-57.9	-57.9	-73.7	-73.7	-78.9	-78.9	-73.6	-63.2	-52.7	-57.9	-63.1	-52.6	5.3
	非製造業	-47.4	-68.4	-68.4	-73.6	-78.9	-78.9	-84.2	-52.7	-47.4	-36.8	-42.1	-63.1	-73.7	-26.3
	全業種	-52.6	-63.1	-63.1	-73.7	-76.3	-78.9	-81.6	-63.2	-55.3	-44.7	-50.0	-63.1	-63.2	-10.6
資金繰り	製造業	-36.8	-42.1	-47.4	-47.4	-52.6	-52.6	-47.4	-31.6	-36.8	-21.1	-26.3	-31.6	-36.8	0.0
	非製造業	-36.8	-57.9	-63.2	-68.4	-68.4	-63.2	-68.4	-52.6	-36.9	-26.3	-42.1	-57.9	-57.9	-21.1
	全業種	-36.9	-50.0	-55.3	-57.9	-60.5	-57.9	-57.9	-42.1	-36.8	-23.7	-34.2	-44.7	-47.4	-10.5
設備操業度	製造業	-21.1	-31.5	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-57.9	-42.1	-42.1	-52.6	-42.1	-52.6	-52.6	-31.5
雇用人員	製造業	-5.3	-5.2	-21.0	-26.3	-26.3	-26.3	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-10.5	-5.2
	非製造業	-21.1	-26.3	-36.8	-42.1	-31.6	-36.8	-36.8	-26.3	-15.8	-26.3	-31.6	-31.6	-31.6	-10.5
	全業種	-13.1	-15.8	-28.9	-34.2	-29.0	-31.6	-26.3	-26.3	-18.4	-21.1	-23.7	-23.7	-21.1	-8.0
景況	製造業	-57.9	-68.4	-78.9	-78.9	-84.2	-84.2	-84.2	-73.7	-63.2	-57.9	-73.7	-73.7	-52.6	5.3
	非製造業	-63.1	-73.1	-78.9	-78.9	-78.9	-78.9	-84.2	-73.7	-47.4	-36.8	-52.6	-52.6	-68.4	-5.3
	全業種	-60.6	-71.1	-78.9	-78.9	-81.6	-81.6	-84.2	-73.7	-55.2	-47.4	-63.2	-63.2	-60.6	0.0

情報連絡員報告総括表(令和3年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
食料品	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1
繊維工業	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	0	2	1
木材・木製品	0	3	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	0	3	1
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
出版・印刷	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1
化学ゴム																												
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	1	0	2	0	0	0	1	1
一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	0	2	1
電気機器	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
輸送用機器																												
その他																												
19	5	10	4	1	17	1	2	17	0	0	19	0	2	13	4	0	18	1	1	15	3	1	18	0	0	13	6	
100%	26.3%	52.6%	21.1%	5.3%	89.5%	5.3%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	68.4%	31.6%	
卸売業	4	1	1	2	3	1	0	5	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	6	0	0	1	5	0
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	0	1	0
商店街	0	1	3	1	2	1	0	2	2	0	2	0	2	0	4	0	0	4				0	2	2	0	0	4	4
サービス業	3	0	2				0	4	1	0	4	1	3	0	2	1	2	2				0	4	1	1	1	3	3
建設業	0	0	1				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	0	1	0
運輸業	1	1	0				0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	1				0	2	0	0	0	1	1
その他																												
19	8	4	7	3	6	2	0	15	4	0	16	3	5	7	7	1	11	7				0	16	3	2	9	8	
100%	42.1%	21.1%	36.8%	25.0%	50.0%	16.7%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	84.2%	15.8%	26.3%	36.8%	36.8%	5.3%	57.9%	36.8%				0.0%	84.2%	15.8%	10.5%	47.4%	42.1%	
38	13	14	11	4	23	3	2	32	4	0	35	3	7	20	11	1	29	8	1	15	3	1	34	3	2	22	14	
100%	34.2%	36.8%	28.9%	12.9%	74.2%	9.7%	5.3%	84.2%	10.5%	0.0%	92.1%	7.9%	18.4%	52.6%	28.9%	2.6%	76.3%	21.1%	5.3%	78.9%	15.8%	2.6%	89.5%	7.9%	5.3%	57.9%	36.8%	

情報連絡員報告総括表(令和3年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会  
連絡員総数38名  
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
食料品	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
繊維工業	0	0	3	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	2	1	0	1	2	
木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	4	0	0	4	0	1	3	0	4	0	0	2	2	2	0	4	0	0	2	2	
紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	
化学ゴム																												
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2	
一般機器	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	2	0	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	1	1	
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
輸送用機器																												
その他																												
19	3	3	13	0	15	4	1	14	4	0	18	1	3	13	0	12	7	0	9	10	0	17	2	1	7	11		
100%	15.8%	15.8%	68.4%	0.0%	78.9%	21.1%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	94.7%	5.3%	15.8%	68.4%	0.0%	63.2%	36.8%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	89.5%	10.5%	5.3%	36.8%	57.9%		
非卸売業	2	2	2	0	4	2	1	4	1	0	6	0	4	2	0	5	1					0	6	0	0	5	1	
小売業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0				0	1	0	0	0	1	
商店街	0	0	4	1	1	2	0	2	2	0	2	2	0	0	4	0	0	4				0	1	3	0	0	4	
サービス業	0	1	4				1	3	1	0	3	2	0	1	4	0	1	4				0	3	2	0	1	4	
建設業	0	0	1				1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0				0	0	1	0	0	1	
運輸業	0	1	1				0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1					0	2	0	0	0	2	
その他																												
19	2	4	13	1	5	5	3	11	5	0	15	4	0	5	14	0	8	11				0	13	6	0	6	13	
100%	10.5%	21.1%	68.4%	8.3%	41.7%	41.7%	15.8%	57.9%	26.3%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	26.3%	73.7%	0.0%	42.1%	57.9%				0.0%	68.4%	31.6%	0.0%	31.6%	68.4%	
38	5	7	26	1	20	9	4	25	9	0	33	5	3	8	27	0	20	18	0	9	10	0	30	8	1	13	24	
100%	13.2%	18.4%	68.4%	3.2%	64.5%	29.0%	10.5%	65.8%	23.7%	0.0%	86.8%	13.2%	7.9%	21.1%	71.1%	0.0%	52.6%	47.4%	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	78.9%	21.1%	2.6%	34.2%	63.2%	